

いわはらの風



日光修学旅行の旅館でお土産選び
家族の顔を思い出しながら

学びを止めない ウィズコロナの学校へ

～修学旅行から学ぶこと～

3年ぶりの日光修学旅行に6年生が行って来ました。天候に恵まれ、関係する多くの方々に支えられ、楽しさを一層高めようとする児童一人ひとりの心がけの結果、楽しい2日間になったようです。実施まで保護者の皆様にはひとかたならぬご理解をいただきまして、改めてお礼申し上げます。

バス会社、旅館、見学地等での感染対策の徹底とともに、6年生児童とご家庭での感染予防行動のたまものであると感じています。そして、校内での1年生から5年生の予防行動にも支えられました。こうした「感染しない」という強い気持ちと行動が一つになった結果の修学旅行でした。

今後は様々な行事や学習に、修学旅行実施までの考え方や行動を取り入れ、コロナ禍でもできる教育活動に取り組んでいきます。自ら考え、自ら行動し、心豊かでたくましい岩原っ子の育成のために。

田植え 社会科・日本の農業 5年生 5/10

今年度も5年生は保田裕治さんの水田をお借りして、社会科の学習で日本の農業を体験しながら学ばせていただきます。その第一歩として田植えをさせていただきました。植え方指導の後、田の中に入って、目印のついたロープに沿って植えていきました。

この後水の管理、草取り、肥料、病気・害虫・すすめ対応等々、稲刈りまでの作業を体験して、日本の農業の工夫と苦労とやりがいを体験していきます。



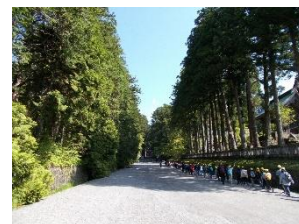
日光修学旅行 6年生 5/17～18



「努力を惜しまず行動すれば、夢は叶う。」と日光修学旅行の出発式で校長が話しました。3年ぶりの修学旅行は、天候に恵まれ、自然の美と人工の美に触れ、そして友だちとの思い出を作ってきました。

旅行中の校長から6年生への課題は「夢の実現を誰に感謝するか」でした。家族に、バスのドライバー、ガイド、旅館の方、添乗員等、そして友だち。この旅に関わるすべての人に感謝していました。その感謝の気持ちを、礼儀正しいさわやかな態度でお返ししていた6年生でした。

これからはこの経験を、下級生に背中であげてくれることでしょうか。夢を持つことのすばらしさ。夢の実現に向けて努力することの大切さ。感謝する気持ちの持ち方。お礼の表現方法。友だちを大切にする行動の仕方。



6年生の姿から、学ぶことを見つけるのは下級生の課題になりますね。

～専科指導で学びを一層充実させます～

3年生から6年生では教科担任(理科・英語・図工・音楽)による授業を行うとともに、隣のクラスの担任教師による授業も学年の実態に応じて行っています。これは教科指導の専門性がある教員によるきめ細かな教科指導を行い、一人ひとりのお子さんの学びが一層豊かになるようにするためです。

効果的な教材・教具を開発したり、指導方法を図ったり、さらには学級担任と教科担任が日常的に授業を見合って相談するなど、全児童を全教職員で指導する考え方を実現するために、学校が組織として指導・対応できるようにしていきます。